marantz®

Model SD4051 取扱説明書

Cassette Deck

お買い上げいただき、ありがとうございます。
ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。お読みになったあとは、「保証書」とともに大切に保存してください。
なお、お買い上げいただきました製品は、厳重な品質管理のもとに生産されておりますが、ご不審な箇所などがありましたら、お早めにお買い上げ店、当社お客様ご相談センター、または最寄りの当社営業所／サービスセンターにお問い合せください。

安全上のご注意

絵表示について

この「安全上のご注意」は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警告　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠ 注意　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

⃠ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。

● 記号は行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く)が描かれています。

△ 記号は注意を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容(左図の場合は指をはさまれないように注意)が描かれています。

⚠ 警告

電源プラグを
コンセントから抜く

- 万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。
- 万一、内部に水などが入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- 万一、機器の内部に異物が入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- 万一、この機器を落したり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

- 電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- この機器を設置する場合は、壁から10cm以上の間隔をおいてください。また、放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、機器の天面から10cm以上、背面から10cm以上のすきまをあけてください。内部に熱がこもり火災の原因となります。

水場での使用禁止

- 風呂場等の水滴がかかる場所では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

- 乾電池は、充電しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となります。
- 表示された電源電圧（交流100ボルト）以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。
- この機器を使用できるのは日本国内のみです。船舶などの直流（DC）電源には接続しないでください。火災の原因となります。
- この機器の開口部をふさがないでください。開口部をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。この機器には、内部の温度上昇を防ぐため、ケースの上部や底部などに開口部があけてあります。次のような使い方はしないでください。
  - この機器をあお向けや横倒し、逆さまにする。
  - この機器を押し入れ、専用のラック以外の本箱など風通しの悪い狭い所に押し込む。
  - テーブルクロスをかけたり、じゅうたん、布団の上において使用する。
- 電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷にならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重い物をのせてしまうことがあります。
- この機器の上にろうそく等の炎が発生しているものを置かないでください。火災の原因になります。
- この機器の開口部などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落し込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。
- この機器の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合火災・感電の原因となります。
- 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。

⚠ 警告

接触禁止

● 雷が鳴り出したら、電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。

● この機器に水が入ったり、ぬらさないようにご注意ください。火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

分解禁止

● この機器の裏ぶた、キャビネット、カバーは絶対外さないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。

● この機器を改造しないでください。火災・感電の原因となります。

⚠ 注意

● オーディオ機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また、接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したり、コードを延長したりすると発熱しやけどの原因となることがあります。

● 電源を入れる前には、音量（ボリューム）を最小にしてください。突然大きな音がでて聴力障害などの原因となることがあります。

● 電池をリモコン内に挿入する場合、極性表示プラス ⊕ とマイナス ⊖ の向きに注意し、表示通りに入れてください。間違えると電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

● 指定以外の電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

● ご不要になった電池を廃棄する場合は、各地の地方自治団体の指示（条例）に従って処理してください。

● 製品に同梱または付属している電源コードのみ使用してください。製品に同梱または付属していない電源コードは使用しないでください。

指のケガに注意

手を挟まれない
ように注意

● お子様がカセットテープ挿入口に、手を入れないようにご注意ください。けがの原因となることがあります。

電源プラグを
コンセントから抜く

● 電源のスイッチを切っても電源からは完全に遮断されていません。万一の事故防止のため、本製品を電源コンセントの近くに置き、すぐに電源コンセントからプラグを抜けるようにしてご使用ください。

● 旅行などで長期間、この機器をご使用にならないときは安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

⚠ 注意

電源プラグを
コンセントから抜く

- お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
- 移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してから行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
- 電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
- 窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所など異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。
- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。
- 電池は、金属性のボールペン、ネックレス、コイン、ヘアーピンなどと一緒に携帯、保管しないでください。電池のプラス＋端子とマイナス－端子の間がショートし、電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となることがあります。
- 電池は、加熱したり、分解したり、火や水の中に入れないでください。電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となることがあります。
- 長時間音が歪んだ状態で使わないでください。スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。
- この機器の上に5kg以上の重いものや外枠からはみ出るような大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

- 5年に一度くらいは機器内部の掃除を販売店などにご相談ください。機器の内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、掃除費用については販売店などにご相談ください。
- 長期間使用しないときは、電池をリモコンから取り出しておいてください。電池から液がもれて火災、けが、周囲を汚損する原因となることがあります。もし液がもれた場合は、電池室についた液をよく拭き取ってから新しい電池をいれてください。また、万一、もれた液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。
- この機器の上にテレビやオーディオ機器などを載せたまま移動しないでください。倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。
- この機器に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様にはご注意ください。倒れたり、こわしたりして、けがの原因となることがあります。

目　　次

1 ご使用の前に …… 5
2 DOLBY NR B, HX PROについて …… 6
3 カセットテープについて …… 6
4 各部の名称と使い方 …… 7
5 リモコン(RC455SD)について …… 10
6 再生方法 …… 11
7 録音方法 …… 12
8 ダビング方法 …… 13
9 シンクロレコーディング方法(DECK B) …… 14
10 タイマー録音・再生 …… 15
11 故障とお考えになる前に …… 16
12 保証・アフターサービスについて …… 16
13 仕　様 …… 17

1 ご使用の前に

■製品を長くご使用いただくために、次のような場所には設置しないでください。

- 直射日光を受けたり、暖房器具などの発熱体に近い場所。
- 風とおしが悪く、湿気やホコリの多い場所。
- 振動や傾斜のある不安定な場所。
- 窓ぎわで、雨などがかかるおそれのある場所。
- 磁気を発生するもの(テレビ、モーター、トランス)などに近い場所。
- 必ず水平位置でお使いください。

■ご使用いただく電源電圧・周波数

- 電源電圧は、交流 100V をご使用ください。
- 電源周波数は 50Hz 地域、または 60Hz 地域でも使用できます。

■電源コードの取扱い

- 濡れた手で触れないでください。
- 電源コードは、必ずプラグを持って抜いてください。
  コードを強くひっぱったり、折り曲げたりすると、コードがいたみ、感電や火災の原因になります。
- おでかけ前には、必ずプラグを抜くようにしましょう。
- 長期間使用しない場合はプラグを抜いてください。

■ヘッドのクリーニング

ヘッドが汚れていると音が悪くなります。市販のクリーニングテープで定期的にお手入れしてください。(クリーニングテープの取扱説明書を参照してください。)

■ヘッドの消磁

長時間使用していますと、ヘッドが磁化されて「サー」とか「ボソボソ」という雑音がでたり、大切な録音済みテープの高音が消されてしまうこともあります。市販のヘッド消磁器で定期的にお手入れしてください。(ヘッド消磁器の取扱説明書を参照してください。)

■セット内部の修理

- 注油しますと故障の原因になりますのでさけてください。
- 内部の点検や調整は、故障や感電事故の原因になります。
- 内部に触れることは絶対にしないでください。
  また、内部を改造した場合の性能の劣化については保証いたしません。

■テープメカニズム動作について

メカニズムの動作は、内蔵のマイクロコンピューターにより制御されています。電源を入れた直後から約 5 秒間は、メカニズム動作がしないことがあります。

■ステレオ音のエチケット

楽しい音楽も場所によっては気になるものです。隣近所への配慮(おもいやり)を十分にいたしましょう。ステレオの音量はあなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。特に静かな夜間には小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には特に気を配りましょう。窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。お互いに心を配り快い生活環境を守りましょう。

2 DOLBY NR B, HX PRO システムについて

■DOLBY NR B システム

ドルビーNRシステムは、録音時に中・高域周波数の低いレベルの信号を増強し、再生時この信号レベルを同じだけ低減します。その結果、再生信号はソース信号と全く同じものになり、テープレコーダーで発生するテープヒスノイズは大幅に減少します。

■DOLBY HX PRO システム

DOLBY HX PRO はテープの録音性能を飛躍的にひろげる回路で、高域特性を大きく改善するシステムです。磁気テープの特性は、録音時にバイアス量が少ないと高域のMOLが向上する反面全体の歪が増え、バイアス量が多いと歪は減りますが高域のMOLが低下します。固定バイアス方式録音回路で、高域成分を多く含んだ音楽を録音すると、その高域成分が固定バイアスに相乗してオーバーバイアスとなり、高域の飽和レベルが低下します。この傾向は録音レベルが高いほど大きくなります。

これに対してDOLBY HX PRO システムは、録音の時に録音信号に含まれる高域成分を検出し、録音バイアス量を自動的にコントロールして、高域の飽和レベル特性を改善します。

DOLBY HX PRO システムはノイズリダクションシステムとは異なり、録音バイアスを調整するシステムで録音のときだけ動作します。したがってDOLBY HX PRO システムで録音したカセットは他のどのデッキでも再生できます。

ご注意：

ドルビーNRシステムは録音時と再生時の両方に使用してその適切な効果が得られます。録音時のみあるいは再生時にのみ使用した場合や、再生時に録音されたテープのNRタイプと違う場合、不自然な音質になります。

本製品のドルビーノイズリダクション及びドルビーHX Proヘッドルームエクステンションはドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
HX Proヘッドルームエクステンションはバングアンドオルフセンの考案です。
Dolby、ドルビー、HX Proおよびダブル D 記号 DD はドルビーラボラトリーズの商標です。

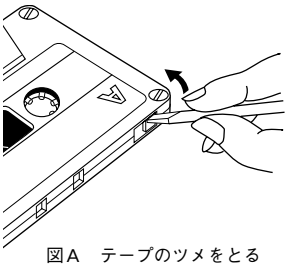
ご注意：

本機はメタルテープの再生（EQ：70μs）には対応しておりますが、録音には対応しておりません。

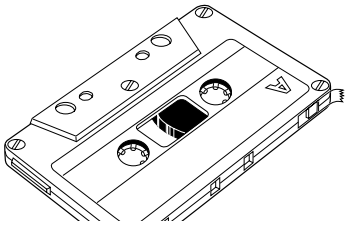
3 カセットテープについて

■大切な録音を消さないために

カセットテープには、録音済みテープを誤って消去しないように消去防止用のつめがあります。ケースのつめをドライバーの先などで取ると、誤って消去することがありません。（図A参照）



図A　テープのツメをとる



図B　セロハンテープなどをはる

なお、つめを取ってしまったカセットテープに再び録音する場合はつめの部分にセロハンテープなどを貼ってください。（図B参照）

■カセットテープの上手な使い方

- リーダーテープにご注意
  カセットテープのはじめには、リーダーテープ（録音できない部分）があります。テープのはじめの部分では、約五秒間、テープを走行させてから録音してください。

- テープ面に触れないで…
  テープ面を指などで直接触れないでください。音とびの原因となることがあります。

■オートテープセレクターについて

本機は、オートテープセレクターを採用していますので下図のようなカセットテープ検出穴を利用して、テープセレクター（バイアス、イコライザー）を自動的に設定できます。

※下記のテープの種類のものは全て、自動的にバイアス、イコライザーが設定されます。

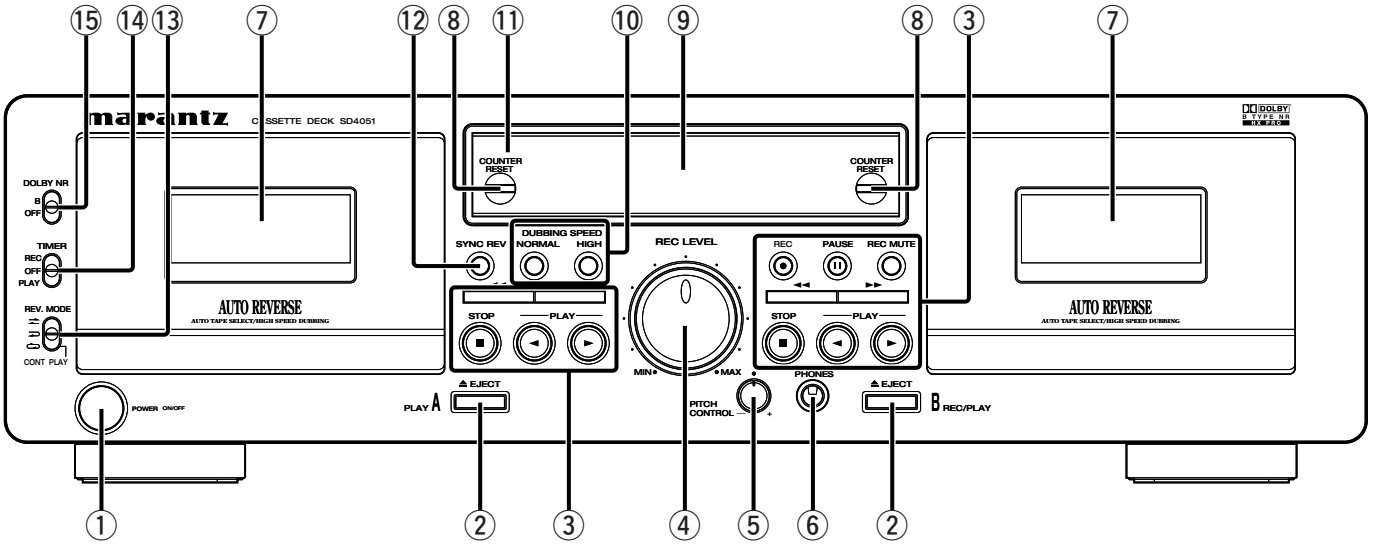
- ノーマルテープ（EQ : 120 μs, BIAS : Low）：TYPE Ⅰ
- ハイポジション系テープ（EQ : 70 μs, BIAS : High）：TYPE Ⅱ

■ 使用するテープについて

C-100タイプ以上のテープは薄いため、キャプスタンやピンチローラーに巻き付くことがありますので、できるだけC-46、C-60、C-90タイプのテープを使用してください。

4 各部の名称と使い方

前面パネル



（デッキ A）　　（デッキ B）

① POWER（パワー）スイッチ（電源）
スイッチを押すと電源が入り、もう一度押すと電源は切れます。

② ⏏ EJECT（イジェクト）ボタン（デッキA, デッキB）
このボタンを押すとカセットホルダーが開き、カセットテープを着脱することができます。

③ 操作ボタン（デッキ-A, デッキ-B）

STOP/■ ： ストップ（停止）ボタン

PLAY/► ： プレイ（再生）ボタン

►► ： 早送りボタン
右側のリールを巻上げます。

◄◄ ： 巻き戻しボタン
左側のリールを巻上げます。

REC/● ： 録音／（デッキBのみ）
ストップ時にこのボタンを押すと、録音ポーズ（録音一時停止）になります。

REC/MUTE： 録音ポーズ中／録音中または定速ダビング中にこのボタンを押すと、テープ上に5秒間の無録音部分を作った後、録音ポーズになります。

II ： 録音ポーズボタン（デッキBのみ）
録音中または定速ダビング中にテープを一時停止するときに押します。
一時停止を解除するには、デッキBのPLAY/►ボタンを押してください。（再度ポーズボタンを押しても解除出来ます）

④ REC LEVEL（レックレベル）調整ツマミ
録音入力レベルを調整するツマミです。

⑤ PITCH CONTROL（ピッチコントロール）ツマミ
カセットの再生時にピッチ（音程）を変えることができます。（DECK Aだけ変えることができます。）
PITCH CONTROLツマミを右に回すと、テープ走行速度が早くなり音程が上がります。
左に回すと、テープ走行速度が遅くなり音程が下がります。

⑥ PHONES（ヘッドホン）ジャック
ヘッドホンを接続します。

⑦ カセットホルダー（デッキA, デッキB）
カセットテープを入れるところです。

⑧ RESET（リセット）ボタン
このボタンを押すとカウンターの表示が“0000”になります。

⑨ ディスプレイ

⑩ DUBBING SPEED NORMAL／HIGH
（ダビングスピード　ノーマル／ハイ）ボタン
NORMALボタンを押すと定速、HIGHボタンを押すと倍速でDECK A からDECK B へのシンクロスタートダビングができます。両方のテープが停止状態（STOP）で、DECK Bに録音可能なテープが入っているときにこのボタンを受付けます。

⑪ IR SENSOR（赤外線受光窓）
リモコン信号を受信するところです。

⑫ SYNC REV（シンクロリバース）
シンクロダビングをするときに、このボタンを押した後ダビングモードを選びます。（→13ページ）

⑬ REV. MODE（リバースモード）スイッチ

再生・録音時のテープの走行モードを選択します。

⇄ ：フォワード方向またはリバース方向のみとするとき。

⇀ ：再生時：DECK AまたはDECK Bのみで1往復
録音時：1往復のみで自動的に停止します。（DECK B）

↻ ：再生時：DECK AからDECK Bへ連続再生するときにこの位置にします。連続再生は5往復すると自動的に停止します。
録音時：1往復のみで自動的に停止します。（DECK B）

⑭ TIMERスイッチ（REC/OFF/PLAY）
（タイマープレー／タイマーレコーディング）

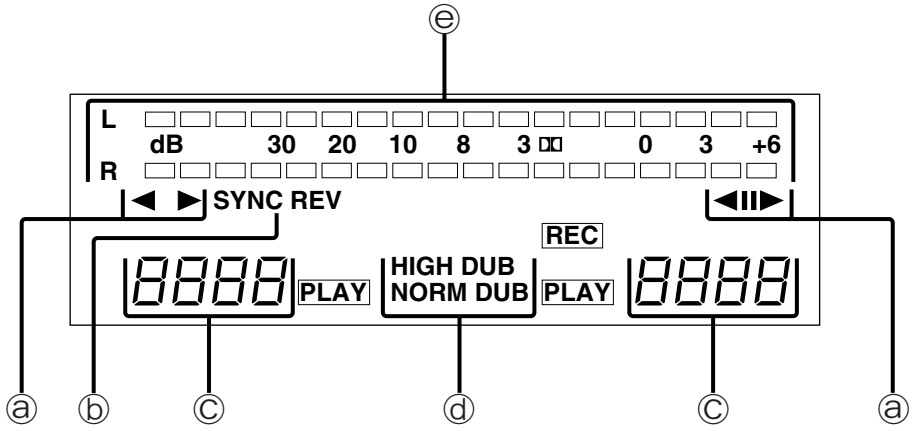
オーディオタイマーを使った録音・再生をするときに操作します。

タイマー録音・再生を行わないときは、“OFF”ポジションにして置いてください。

⑮ DOLBY NR B スイッチ

DOLBY NRのOFF/Bを選択します。

ディスプレイ



ⓐ ファンクションインジケーター

テープの走行する方向（◄/►）と、メカニズムの状態を表示します。

録音中は REC 、PLAY 、が点灯、録音一時停止中は REC と“II”が点灯します。

ⓑ SYNCインジケーター

シンクロレコーディングモードのときに点灯します。

Ⓒ テープカウンター

テープの走行量を表示します。

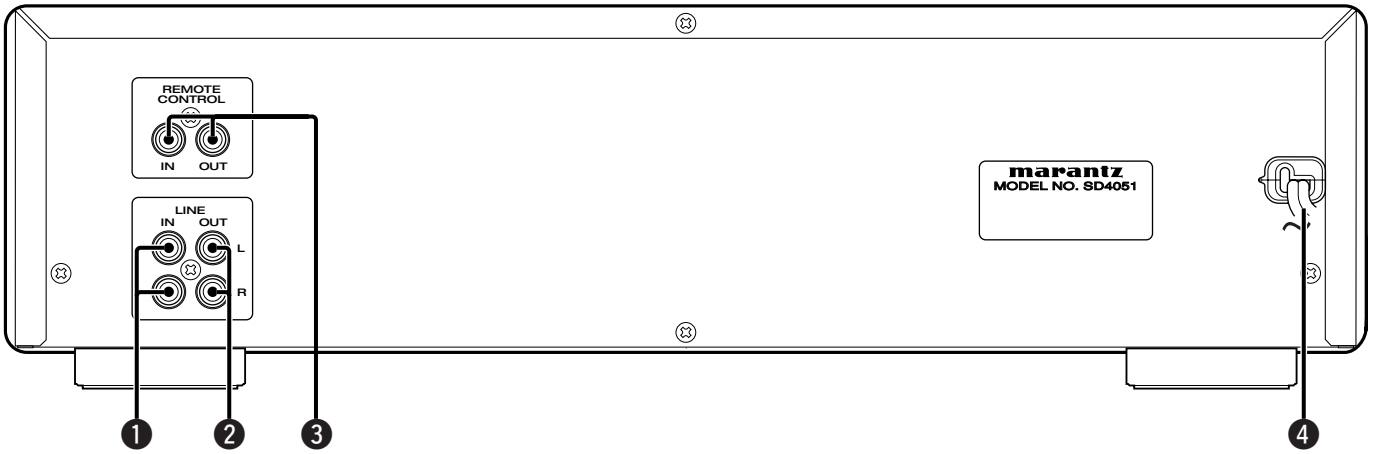
ⓓ ダビングインジケーター

定速ダビング中は　DUBインジケーターが、倍速ダビング中はHIGHインジケーターが点灯します。

ⓔ ピークレベル インジケーター

再生または録音レベルを表示します。

後面パネル



❶ LINE IN 端子(入力)

アンプのテープ出力端子(TAPE OUT)と付属の接続コードで接続します。

本機のR端子とアンプのR端子を、L端子とL端子を確認して接続してください。

❷ LINE OUT端子(出力)

アンプのテープ入力端子(TAPE IN)と付属の接続コードで接続します。

本機のR端子とアンプのR端子を、L端子とL端子を確認して接続してください。

❸ REMOTE CONTROL端子(リモートコントロール)

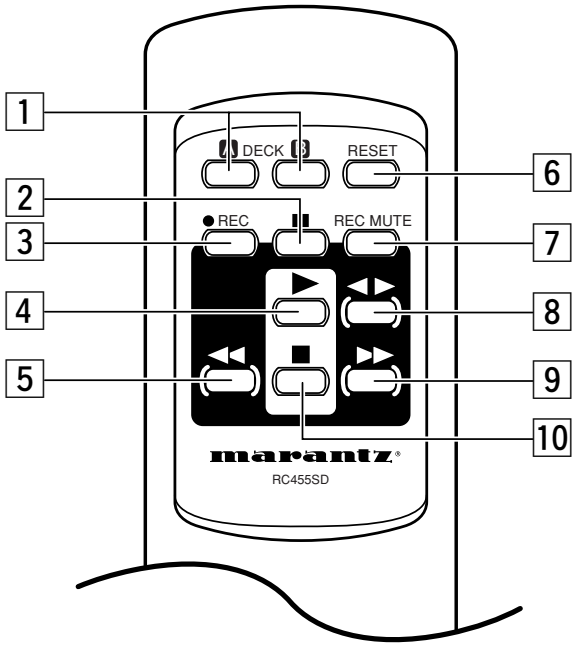
マランツ製品のリモートコントロール端子を持つエディット再生に対応したCDプレーヤーと接続することにより、システムをリモートコントロールすることができます。(CDプレーヤーとのシンクロ録音する時に使用します。(→14ページ) お手持ちのマランツ製CDプレーヤーがエディット再生に対応しているかについては、CDプレーヤーの取扱説明書をご覧ください。)

❹ 電源コード

ステレオアンプの電源コンセントまたは、家庭の電源コンセントに接続します。

リモコン部

デッキ(SD4051)の電源がONで、テープが装着されている状態にあるときは、リモコンの各機能を操作することができます。



1 DECK A, Bボタン

リモコンで操作するDECKの、AかBかを選択するときに押します。

2 ❚❚ ボタン(レックポーズ)

録音、定速ダビング中にDECK Bのテープを一時停止するときに押します。

3 ●REC ボタン(録音ボタン)

DECK B を録音ポーズ状態にするときに押します。

4 ▶ ボタン(プレイ)

再生スタートするときに押します。また、DECK B が録音ポーズ状態で、録音スタートするときに押します。

5 ◀◀ ボタン(巻き戻し)

左側のリールを巻上げます。

6 RESET(リセット)ボタン

カウンターの数字を0000にします。

7 REC MUTE (レックミュート) ボタン

録音ポーズ中/録音中または定速ダビング中にこのボタンを押すと、テープ上に4秒間の無録音部分を作った後、録音ポーズになります。

8 ◀▶ ボタン(ダイレクション)

テープの走行方向を変えるとき押します。

9 ▶▶ ボタン(早送り)

右側のリールを巻上げます。

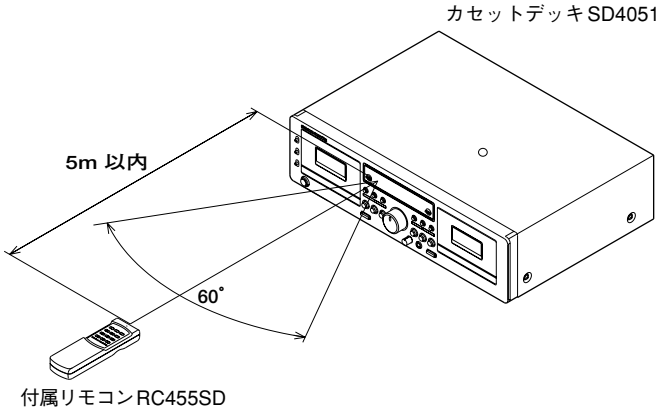
10 ■ボタン(ストップ)

DECKを停止するときに押します。

5 リモコン（RC455SD）について

1. リモコンの使用について

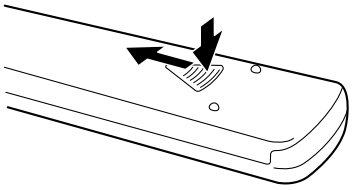
リモコン（RC455SD）とカセットデッキ（SD4051）の操作距離は5ｍ以内でご使用ください。送信機と受光窓の間に障害物があると、操作できなくなることがありますのでご注意ください。また、受光窓に強い光があたっても同様になることがあります。このリモコン送信機の電池の寿命は、普通の使い方で約一年です。消耗してきた電池は、早めに交換してください。



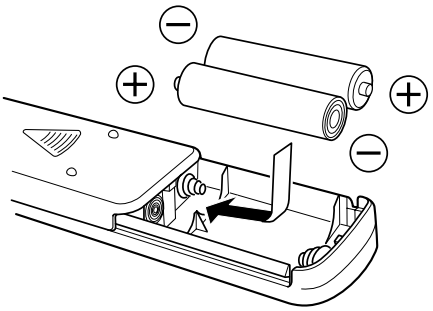
2. 電池の入れ方

リモコンの裏にあるフタをはずし、電池ケース内の表示に従って、付属の単3電池を入れてください。

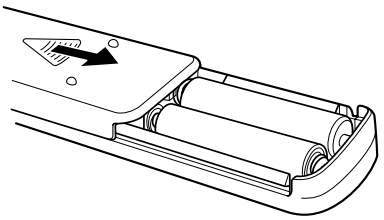
(1) リモコンの裏にあるフタを矢印の方向に、押しながらずらします。



(2) プラス⊕とマイナス⊖の表示に従い、電池を入れます。



(3) リモコンのフタをずらして閉めます。

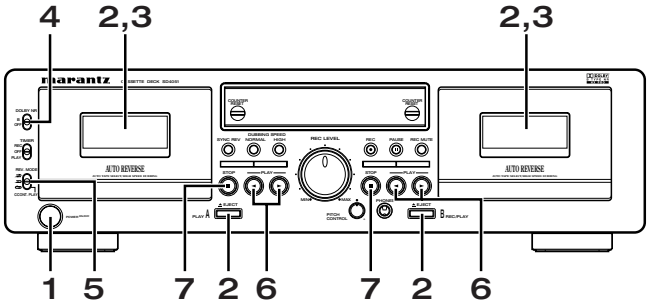


ご注意：

- 新しい電池と古い電池を混用しないでください。
- 電池は、2本とも同じタイプのものをご使用ください。
- 長い間リモコン送信機を使わないときは、電池の液漏れ防止のため、取り出しておいてください。
- 電池を分解したり、火の中に投入すると破裂することがあります。危険ですので絶対におやめください。
- 付属の電池はリモコンの機能性を確認するためのものです。交換する電池は充電式電池、アルカリ電池、マンガン電池のいずれでも使用できます。

6 再生方法

■単独再生(DECK A または DECK B の再生)



1. POWERスイッチをONにします。
2. ⏏ EJECTボタンを押し、カセットホルダーを開きます。
3. カセットテープを入れカセットホルダーを押しながら、カチッと音がするまで押します。
4. ドルビーNR録音してあるテープのときは、録音時と同じNRタイプを選択します。
5. REV. MODEスイッチでテープ再生モードを選択します。
6. ◀▶ ボタンを押し、再生を開始します。押した矢印の方向で再生を開始します。
7. 途中で再生を停止したいときには、STOP/■ボタンを押します。

■連続再生(コンティニュアス プレイ)

1. DECK AとDECK Bにカセットテープをセットします。
2. ドルビーNR録音されているテープのときは、録音時と同じNRタイプを選択します。
3. REV. MODEスイッチを“ ”ポジションにします。
4. PLAY/▶ ボタンを押し、テープの再生を開始します。
5. 途中で再生を停止したいときには、STOP/■ ボタンを押します。

※ 連続再生はDECK A、DECK Bを5往復再生した後、自動的に停止します。(DECK Bより再生をスタートした場合、DECK Aは2往復目からの再生となります。)

■ミュージックサーチ

テープ上の信号の間にあるブランク部分(約4秒の無信号部分)を検出し、次の曲または現在位置の曲の始めに戻り、自動的に再生する機能です。

1. 次の曲の始めから再生する

   テープ走行方向がフォワード(▶)ダイレクション再生の場合は、▶▶ ボタンを押します。
   (リモコンを使用する場合は、▶▶| ボタンを押す。)

   テープ走行方向がリバース(◀)ダイレクション再生の場合は、◀◀ ボタンを押します。
   (リモコンを使用する場合は、|◀◀ ボタンを押す。)

2. 現在位置の曲の始めに戻り再生する

   テープ走行方向がフォワード(▶)ダイレクション再生の場合は、◀◀ ボタンを押します。
   (リモコンを使用する場合は、|◀◀ ボタンを押す。)

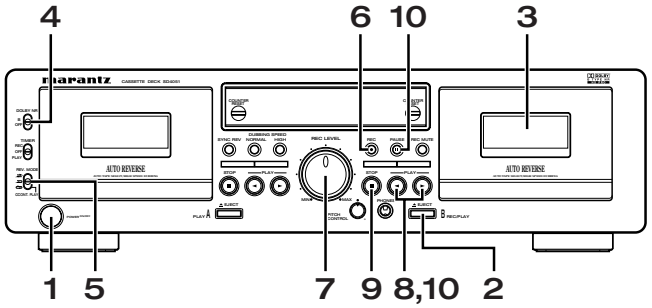
   テープ走行方向がリバース(◀)ダイレクション再生の場合は、▶▶ ボタンを押します。
   (リモコンを使用する場合は、▶▶| ボタンを押す。)

※ ミュージックサーチは、曲間に作られた4～5秒間のブランク(無信号)部分を検出することにより動作させています。従って、次のようなテープの状態によっては正しく動作しない場合もあります。

- ナレーションなどが録音されたテープ。
- ピアニッシモ部分など、音量の低い部分が続く曲が録音されたテープ。
- ブランク部分のノイズが高いテープ。
- ブランク部分が4秒より短いテープ。

7 録音方法

■単独録音（DECK Bのみ）



1. POWERスイッチをONにします。
2. DECK Bの⏏ EJECTボタンを押し、カセットホルダーを開きます。
3. カセットテープを入れカセットホルダーを閉めます。
4. ドルビーNR録音をするときは、Bタイプを選択します。
5. REV. MODEスイッチでテープ録音モードを選択します。
6. REC/●ボタンを押します。
7. REC LEVELツマミで録音レベルを調整します。
8. PLAY/► ボタンを押し、録音を開始します。
9. 途中で録音を停止したいときには、STOP/■ボタンを押します。
10. 録音中に一時停止状態にする場合には、PAUSE/❙❙ ボタンを押します。
    PLAY/► ボタンを押すと録音を再度開始します。
    （PAUSE/❙❙ ボタンを再度押しても、同様な操作になります。）

■適正録音レベル

録音レベルが高すぎると歪の多い音となり、また低すぎるとノイズの多い音となります。
テープのタイプ、録音するソースによって適正録音レベルは異なりますが、次の調整レベルを参考にしてREC LEVELツマミを調整してください。

TYPE Ⅰ（Normal）： ピークインジケータの0dBがときどき点灯するレベル

TYPE Ⅱ（High position）：ピークインジケータの＋1dBがときどき点灯するレベル

ご注意：
本機はメタルテープ録音に対応しておりません。

■曲間にスペースをつくるには（録音ミューティング）

録音中にコマーシャルをカットしたり、曲と曲の間にスペースをつくることができます。

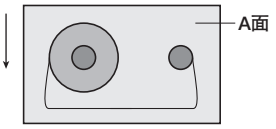
1. 録音中にREC MUTEボタンを押します。
   REC 表示が点滅し、約4秒間の録音ミューティング（無信号録音）した後に一時停止します。

2. 録音を開始します。
   PAUSE/❙❙ またはPLAY/► ボタンを押すと、一時停止を解除して再び録音を始めます。

※ 録音一時停止中にREC MUTEボタンを押すと、録音ミューティングが始まり、約4秒後に一時停止します。

録音時注意事項

①カセットテープの巻き取り状態

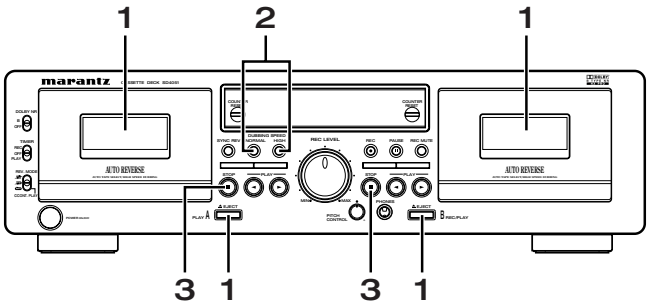


②テープ方向表示 ► になっているか確認する
この状態でないとA面の先頭より録音は出来ません。
ダビング録音、シンクロ録音も同様です。

8 ダビング方法

ダビング（コピー）では、録音レベルの調整は必要ありません。
DECK Aの再生レベルをDECK Bにそのままコピーします。

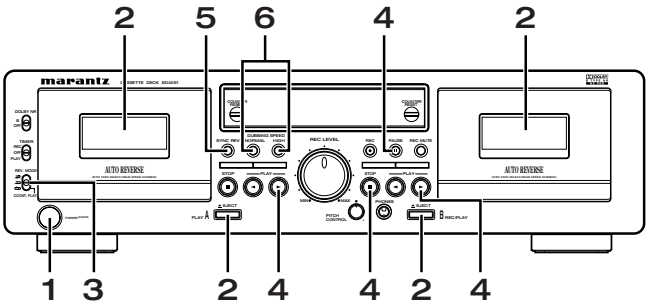
■DECK A から DECK B へ



1. DECK Aに再生するカセットテープを、DECK Bに録音するカセットテープをセットします。
2. 定速ダビングのときはNORMALボタンを、倍速ダビングのときはHIGHボタンを押します。直ちにダビングを開始します。
3. ダビングを途中で停止させるにはDECK A、DECK Bどちらかの STOP/■ ボタンを押します。

ご注意：
録音テープは、なるべく再生テープと同じ長さのテープを使用してください。再生より録音のテープが短い場合、音楽が途中までしか録音できないことがあります。DECK Bのテープは録音しても良いテープか十分確認してください。

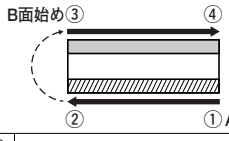
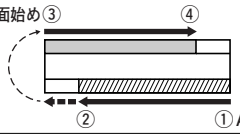
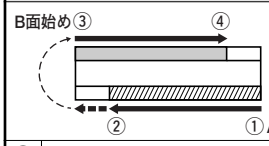
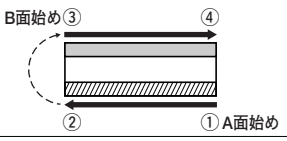
■シンクロ リバース ダビングするには（B面のダビング開始を一致させる）



1. 電源を入れます。
2. DECK Aに再生、DECK Bに録音するカセットを装着します。
3. REV MODEスイッチを“⇄”ポジションにします。
4. DECK AとBの方向表示を“▶”にします。
   DECK BはPAUSE/❚❚ボタンを先に押し、PLAY/▶ ボタンを押すと、テープを走らせずにすみます。設定後は、必ずSTOP/■ ボタンを押して、一時停止状態を解除してください。
5. SYNC REVボタンを押します。
   REV MODEスイッチが“⇄”、DECK A/B双方の方向指示表示が“▶”方向に点灯しているとき、SYNC REV表示が点灯します。
6. DUB SPEEDボタンを押します。
   NORMALは定速度、HIGHは倍速度でダビングします。

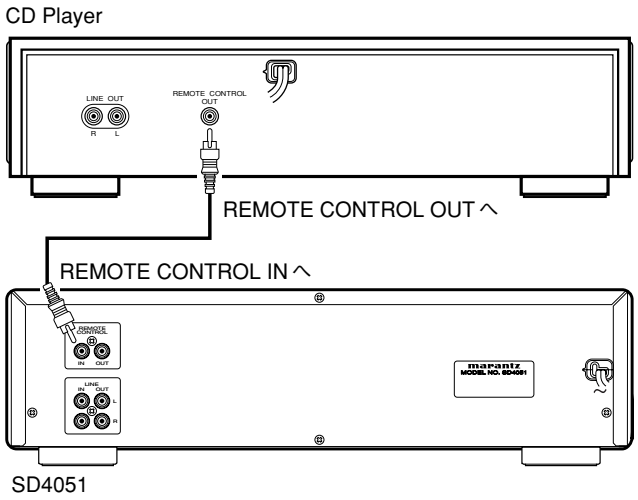
●ダビングを終了するには

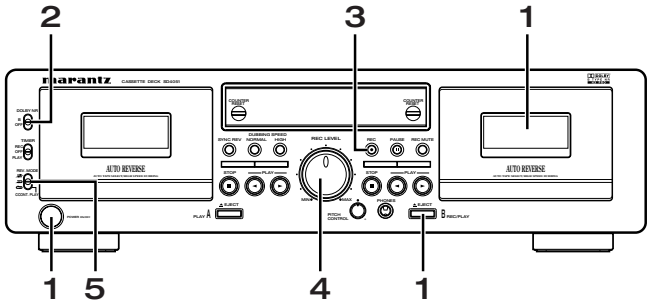
STOP/■ ボタンを押します。

シンクロリバースダビング動作		
DECK A（再生用）		DECK B（録音用）
DECK Aのテープが DECK Bのテープより短い場合		
		
①	A面のダビングを開始	
②	DECK Bがテープエンドになるまで待機	テープエンドまで無信号録音
③	B面のダビングを開始	
④	B面のダビングを終了	
DECK Aのテープが DECK Bのテープより長い場合		
		
①	A面のダビングを開始	
②	テープエンドまで再生	DECK AがA面の再生を終了するまで待機
③	B面のダビングを開始	
④	B面のダビングを終了	

9 シンクロレコーディング方法(DECK B)

当社のエディット再生に対応するCDプレーヤーとの組み合わせのみ可能です。
CDプレーヤーに付属するリモート接続コードで、CDプレーヤーのREMOTE CONTROL OUT端子とSD4051のREMOTE CONTROL IN端子を接続します。





1. DECK Bにカセットテープをセットします。
2. ドルビーNR録音をするときは、Bタイプを選択します。
3. REC/●ボタンを押し、録音一時停止状態にします。
4. REC LEVELツマミで録音レベルを調整します。
5. CDプレーヤーのエディット演奏を開始します。(エディット機能のあるCDプレーヤーでは、操作方法が異なる場合がありますので、CDプレーヤーの取扱説明書を参照してください。)

   当社CDプレーヤーCD5001等と組み合わせてお使いになるには、REV. MODEスイッチを“ ”にしてください。(A、B面に自動録音します)
   その他の当社CDプレーヤーをお使いのときは“ ”に合わせてください。(A面またはB面のみの録音となります)

10 タイマー録音・再生

■タイマー録音

オーディオタイマーを使って不在のときや深夜放送を録音することができます。

1. タイマーをONにし、デッキのTIMERスイッチをOFFの位置にします。
2. ステレオシステムの電源スイッチをONにし、チューナーを録音しようとする局に同調します。
3. デッキのスイッチをONにし、カセットホルダーにテープを入れてから録音レベルを調整します。
4. デッキのTIMERスイッチをRECの位置にします。
5. タイマーをAUTOにし、スタートとストップ時間をセットします。
6. タイマーをセットした時間になると、全ての電源が入り録音が始まります。なお、テープが巻き終ったときはシャットオフ機構が働いてテープの走行は停止し、次にタイマーの働きでデッキとステレオシステムの電源はOFFになります。

ご注意：

1. 市販のオーディオタイマーの中には、停止時間をセットしなくても自動的に59分後に切れるものもあります。詳しくは、オーディオタイマーの取扱説明書をよくお読みになって、ご使用ください。
2. 時計タイマー機能があり、パワースイッチがロックされない方式のチューナーでは、この方法はできません。この場合は、チューナーのタイマーもセットして下さい。

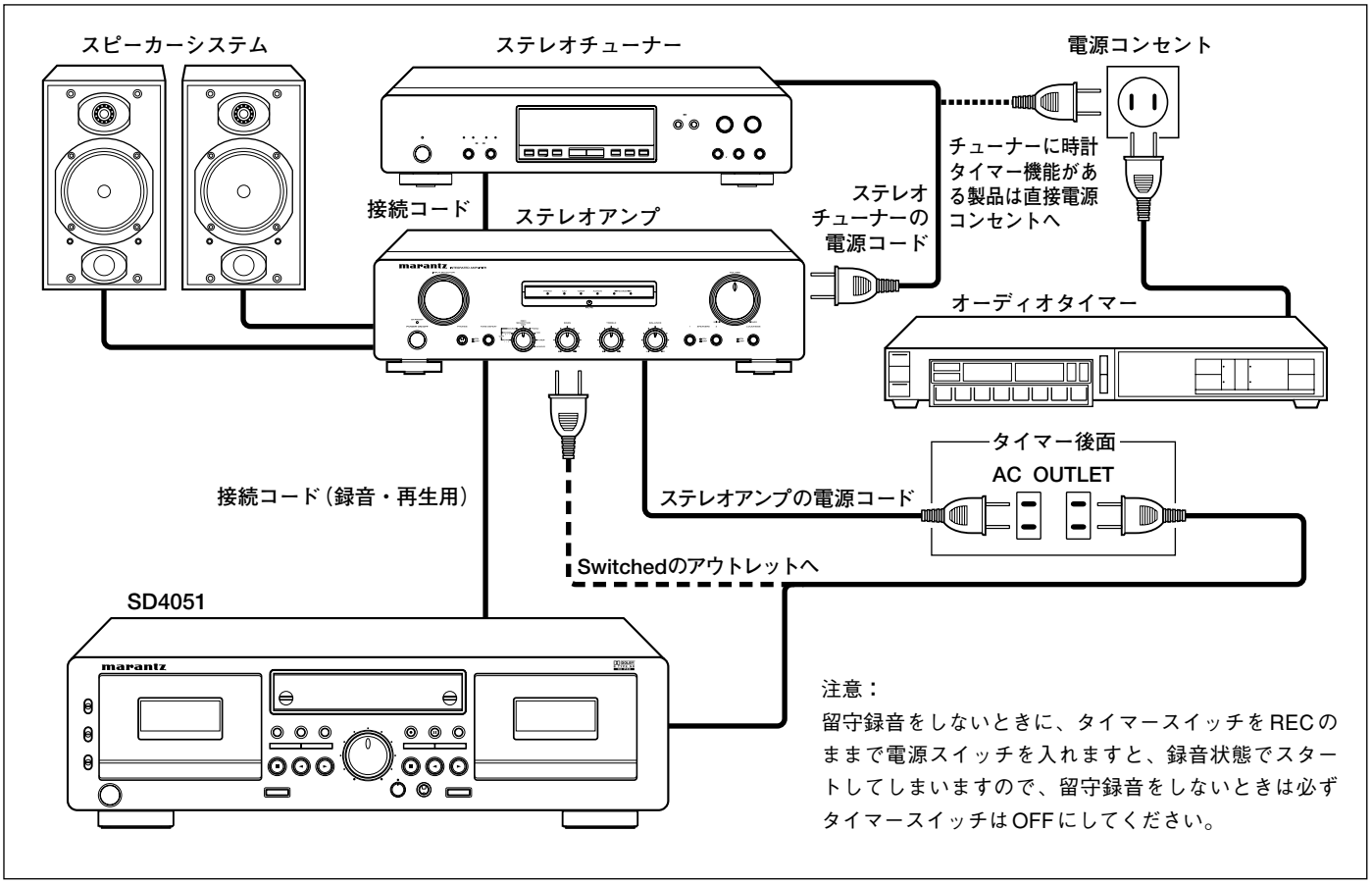
■タイマー再生

1. タイマーをONにし、デッキのTIMERスイッチをOFFの位置にします。
2. ステレオシステムとデッキの電源をONにし、再生するテープの再生レベルを調整します。
3. デッキのTIMERスイッチをPLAYの位置にします。
4. タイマーをAUTOにし、スタートとストップ時間をセットします。
5. タイマーをセットした時間になると、全ての電源が入り再生が始まります。なお、テープが巻き終ったときはトータルシャットオフ機構が働いてテープの走行は停止し、次にタイマーの働きでデッキとステレオシステムの電源はOFFになります。

ご注意：

タイマー再生で、両方のDECKにカセットテープが入っているとき、リバースモードスイッチが“⇄”ポジションの場合にはDECK A, DECK Bの連続再生になります。

■留守録音、タイマー再生の接続



注意：
留守録音をしないときに、タイマースイッチをRECのままで電源スイッチを入れますと、録音状態でスタートしてしまいますので、留守録音をしないときは必ずタイマースイッチはOFFにしてください。

11 故障とお考えになる前に

故障かな？と思ったらちょっとチェックしてみてください。
下記の項目をチェックしても正常な状態に戻らないときは、お買い上げになった販売店、お近くの営業所、または弊社サービスセンターにご相談ください。

テープが走行しない／リモコンが操作できない

1. 電源コードは正しく接続されていますか。
2. POWER スイッチはONになっていますか。
3. 一時停止状態になっていませんか。

テープは走行するが音がでない

1. テープは録音されていますか。
2. アンプ、スピーカーの接続は正しいですか。
3. アンプのボリュームコントロールが最小になっていませんか。

録音ができない

1. カセットテープの録音防止用のつめはとれていませんか。
2. 録音レベルは合っていますか。
3. LINE IN端子の接続は正しいですか。
4. カセットの走行方向は合っていますか。

音が歪んでいる

1. 録音レベルが高すぎませんか。
2. ヘッドが汚れていませんか。

音にむらがある

1. ヘッドが汚れていませんか。
2. ピンチローラー(キャプスタン)が汚れていませんか。
3. カセットテープに不良はありませんか。
4. テープに巻きむらはありませんか。

ノイズが多い

1. ヘッドが汚れていませんか。
2. ヘッドは消磁されていますか。
3. カセットテープに異常はありませんか。
4. NRスイッチの選択は合っていますか。

音にハムが入っている

1. 接続コードの接続に問題はありませんか。
2. 磁気を発生するもの(テレビ、モーター、トランスなど)が近くにありませんか。
3. 本機をアンプやテレビのそばで使用する場合、機種によってハム(ブーンという音)を拾うことがあります。そのときは影響を受けない位置を選んでご使用ください。
4. ACコードプラグを逆にして、ACコンセントに差し込んでみてください。

12 保証・アフターサービスについて

1. この商品には保証書を別途添付してあります。
   保証書は「販売店・お買い上げ日」をご確認の上、販売店からお受けとりいただき、よくお読みの上、大切に保存してください。
2. 保証期間はお買い上げ日より1年間です。
   正常なご使用状態で、この期間内に万一故障の節は、お買い上げ販売店、または弊社営業所で保証書記載事項に基づき「無料修理」いたします。
3. 保証期間経過後の修理
   修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。
4. 当社はこの製品の補修用性能部品を製造打切後最低8年間保有しています。
5. 補修用部品の詳細・ご贈答・ご転居等アフターサービスについての不明な点は、お買い上げ販売店または取扱説明書の裏面に記載の弊社営業所にご遠慮なくご相談ください。
6. 修理を依頼される際には、お手数ですがもう一度「故障とお考えになる前に」をご参照の上よくお調べください。それでも直らないときには、必ず電源プラグを抜いてから、次の処置をしてください。

ご連絡いただきたい内容

1）品　名	カセットデッキ
2）品　番	SD4051
3）お買上げ日	年　月　日
4）故障の状況	（できるだけ具体的に）
5）ご住所	（付近の目印等も併せてお知らせください）
6）お名前	
7）電話番号	

このモデルには高性能のマイクロコンピューターを搭載しておりますが、静電気などによる誤動作と思われる場合は、一度電源プラグを抜いて、30秒程経過してから再びプラグを入れてください。

ご注意：再生・録音中に電源が切れたとき
再生・録音を途中で中止する場合は、必ずSTOPボタンを押してから電源を切ってください。動作中に電源が切られるとカセットテープが装着されたままとなり、テープが取り出せない場合があります。無理に取り出そうとすると、故障の原因になります。この場合は電源を再び ONにして一度再生状態にしてからSTOPボタンを押してください。停電した場合も同じです。

13 仕　様

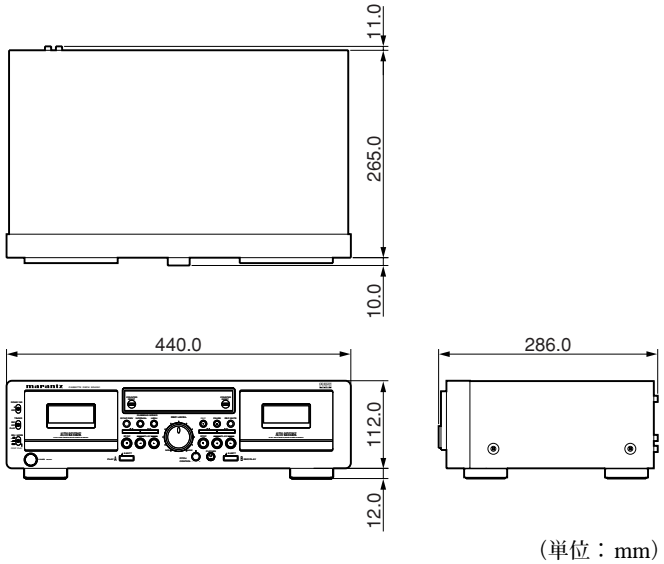
トラツク型式 ····· 4トラック2チャンネル
録音方式 ····· 交流バイアス方式
ヘッド ····· 録音・再生ヘッド×1
再生ヘッド×1
消去ヘッド×1
モーター ····· DCサーボモーター×2
ワウフラッター ····· 0.09％ WRMS［±0.1％ W·PEAK(EIAJ)］

周波数特性
メタルテープ ····· 30 Hz～19 kHz ±3 dB
ハイポジションテープ ····· 30 Hz～18 kHz ±3 dB
ノーマルテープ ····· 30 Hz～17 kHz ±3 dB
S/N比 ····· 58 dB(EIAJ/ピーク録音レベル聴感補正)
DOLBY-B NR ON時 10 dB 改善(5 kHz以上)
入力端子
ライン ····· 100 mV(50 k ohm)×2
出力端子
ライン ····· 460 mV(3 k ohm)×2
ヘッドホン ····· 0.95 mW(8 ohms－1.2 k ohms)×2
電　源 ····· AC 100 V 50/60 Hz
消費電力 ····· 16 W
最大外形寸法
幅 ····· 440 mm
高さ ····· 124 mm
奥行き ····· 286 mm
質　量 ····· 4.0 kg

● 付属品
オーディオコード ····· 2組
リモート接続コード ····· 1本
リモコン(RC455SD) ····· 1個
単3乾電池(SUM-3) ····· 2本

本機の規格および外観は改良のため、予告なく変更することがありますのでご了承ください。

■外形図



(単位：mm)

著作権について

- 放送やレコード、その他の録音物(ミュージックテープ、カセット、CDなど)、音楽作品は音楽の歌詞、楽曲などと同じく著作権法により保護されています。
- したがって、それから録音したテープを売ったり、譲ったり、配ったり、貸したりする場合、および営利(店のBGMなど)のために使用する場合には、著作権法上、権利者の承諾が必要です。
- 使用条件は場合によって異なりますので、詳しい内容や申請その他の手続きについては「日本音楽著作権協会」(JASRAC)の本部または最寄りの支部にお問い合わせください。

■ (社)日本音楽著作権協会 (JASRAC)

本部	〒151-8540　東京都渋谷区上原3-6-12 TEL 03-3481-2121（代表）　FAX 03-3481-2150
北海道支部	（業務地域　北海道） 〒060-0001　札幌市中央区北一条西3-2 井門札幌ビル7階 TEL 011-221-5088　FAX 011-221-1311
盛岡支部	（業務地域　青森、岩手、秋田） 〒020-0034　盛岡市盛岡駅前通15-20 ニッセイ盛岡駅前ビル6階 TEL 019-652-3201　FAX 019-652-4010
仙台支部	（業務地域　宮城、山形、福島） 〒980-0021　仙台市青葉区中央2-2-6 三井住友銀行仙台ビル8階 TEL 022-264-2266　FAX 022-265-2706
長野支部	（業務地域　長野） 〒380-0823　長野市南千歳2-12-1 アクサ長野ビル6階 TEL 026-225-7111　FAX 026-223-4767
大宮支部	（業務地域　埼玉、栃木、群馬、新潟） 〒330-0854　さいたま市大宮区桜木町1-7-5 ソニックシティビル TEL 048-643-5461　FAX 048-643-3567
上野支部	（業務地域　台東、文京、荒川、葛飾、足立、北各区、茨城） 〒110-0005　台東区上野2-7-13 JTB損保ジャパン上野共同ビル3階 TEL 03-3832-1033　FAX 03-3832-1040
東京支部	（業務地域　千代田、中央、港、墨田、江東、品川、大田、江戸川各区、島しょ部、千葉） 〒104-0061　中央区銀座1-3-9 実業之日本社銀座ビル7階 TEL 03-3562-4455　FAX 03-3562-4457
西東京支部	（業務地域　新宿、目黒、世田谷、渋谷、中野、杉並、豊島、板橋、練馬各区） 〒160-0023　新宿区西新宿1-17-1　日本生命新宿西口ビル10F TEL 03-5321-9530　FAX 03-3345-5750
東京イベント・コンサート支部	（業務地域　東京都、千葉、茨城、山梨のイベント、コンサート関係） 〒160-0023　新宿区西新宿1-17-1　日本生命新宿西口ビル10F TEL 03-5321-9881　FAX 03-3345-5760
立川支部	（業務地域　東京都市部、郡部（島しょ部を除く）、山梨） 〒190-0012　立川市曙町2-37-7 コアシティ立川12階 TEL 042-529-1500　FAX 042-529-1515
横浜支部	（業務地域　神奈川） 〒231-0005　横浜市中区本町1-3 綜通横浜ビル4階 TEL 045-662-6551　FAX 045-662-6548
静岡支部	（業務地域　静岡） 〒420-0857　静岡市葵区御幸町11-30 エクセルワード静岡ビル11階 TEL 054-254-2621　FAX 054-254-0285
中部支部	（業務地域　愛知、岐阜、三重） 〒450-0003　名古屋市中村区名駅南1-24-30 名古屋三井ビル本館13F TEL 052-583-7590　FAX 052-583-7594
北陸支部	（業務地域　石川、富山、福井） 〒920-0853　金沢市本町1-5-2 リファーレ12階 TEL 076-221-3602　FAX 076-221-6109
京都支部	（業務地域　京都、滋賀、奈良） 〒604-8153　京都市中京区烏丸通四条上ル笋町689 京都御幸ビル7階 TEL 075-251-0134　FAX 075-251-0414
大阪支部	（業務地域　大阪、和歌山） 〒542-0081　大阪市中央区南船場4-3-11 豊田ビル4階 TEL 06-6244-0351　FAX 06-6244-1970
神戸支部	（業務地域　兵庫） 〒650-0034　神戸市中央区京町69 三宮第一生命ビルディング10階 TEL 078-322-0561　FAX 078-322-0975
中国支部	（業務地域　広島、岡山、山口、鳥取、島根） 〒730-0021　広島市中区胡町4-21 朝日生命広島胡町ビル11階 TEL 082-249-6362　FAX 082-246-4396
四国支部	（業務地域　香川、徳島、高知、愛媛） 〒760-0019　高松市サンポート2-1 高松シンボルタワー20F TEL 087-821-9191　FAX 087-822-5083
九州支部	（業務地域　福岡、佐賀、長崎、熊本、大分） 〒812-0011　福岡市博多区博多駅前2-1-1 福岡朝日ビル5階 TEL 092-441-2285　FAX 092-441-4218
鹿児島支部	（業務地域　鹿児島、宮崎） 〒892-0842　鹿児島市東千石町1-38 アイムビル8階 TEL 099-224-6211　FAX 099-224-6106
那覇支部	（業務地域　沖縄） 〒900-0015　那覇市久茂地1-3-1 久茂地セントラルビル7階 TEL 098-863-1228　FAX 098-866-5074

marantz®

お客様ご相談センター

☎ (03) 3719-3481

ご相談受付時間
9：30ー12：00　13：00ー17：00
（土　日　祝日　当社休日を除く）

修理に関しましては 添付の「 **製品のご相談と修理・サービス窓口のご案内** 」をご覧ください。

株式会社 マランツ コンシューマー マーケティング

当社の最新情報をインターネット上でご覧下さい。
http://www.marantz.jp

Printed in China　07/2006　00M16CW851110　mzh-d